

- 問1 「将来の世代が自分たちのニーズを満たす能力を損なうことなく、現代の世代のニーズを満たすような発展」という考え方は、現代社会において非常に重要視されています。この、環境の保全と開発を両立させようとする概念を何と呼びますか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 経済優先の開発 2. 持続可能な開発 3. 供給過剰な社会 4. 急速な都市化
- 問2 7世紀、日本は友好関係にあった百済が滅亡した際、その復興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送りました。このとき、日本軍が白村江で戦い、大敗を喫した相手である二つの国の連合軍として正しいものを次の中から選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 元と高麗 2. 唐と高句麗 3. 唐と新羅 4. 隋と新羅
- 問3 日本の多くの自治体が、Iターンによる移住者を積極的に受け入れようとしている背景や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 地方の地価を都市部と同水準まで引き上げ、国全体の経済成長率を均一にする必要があるから。
2. 人口減少や高齢化が進む地域において、新たな労働力を確保し、産業を維持することで地域活性化を図るため。
3. 都市部の深刻な住宅不足を解消するため、政府が都市住民の強制的な移住を計画しているから。
4. 情報通信技術（ICT）の普及により、全ての職種において都市部で働く利点が完全になくなったから。
- 問4 近年、エジプトには多くの外国企業が進出しています。アメリカやイギリスなどの先進国では平均月額賃金が3000ドルから4000ドルを超える水準であるのに対し、エジプトは約240ドル弱にとどまっています。このような賃金水準と、若年層の割合が高い人口構成をあわせて考えたとき、企業がエジプトに進出する利点として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. すでに高度経済成長を遂げ、国民の購買力が非常に高いため
2. 若年層向けの教育制度が整い、賃金水準が急速に上昇している点
3. 高度な技術革新を支える熟練した技術者が多いため
4. 将来にわたって安価で豊富な労働力を確保しやすい点
- 問5 新たに風力発電施設を建設する計画において、工事を始める前に周辺の動植物の生態系や騒音への影響を調査し、予測される変化を評価する手続きが法律で義務付けられています。このような「事前調査」に基づく制度の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 国や自治体が主導して、希少な動植物が生息する地域でのあらゆる開発行為を禁止するため
2. 開発事業が完了した後に、当初の計画通りに環境が守られているかを点検し、事後報告するため
3. 事業の着手前に環境への影響を評価し、その結果を公表して住民などの意見を反映させるため
4. 公害が発生した後に、被害を受けた住民を救済し、原因企業に賠償を求めるため
- 問6 日明貿易において「勘合」と呼ばれる札が使用された理由として、当時の日本の立場を踏まえた説明はどれか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 日本が明の領土の一部であることを証明し、日本の商人が明の国内で自由に商売を行う許可を与えるため。
2. 明の皇帝に従う「臣従」の形をとった正式な貿易船と、沿岸部を荒らしていた倭寇（海賊）を区別するため。
3. 元寇以来の敵対関係を解消するために、日本側から明の皇帝へ贈る貢ぎ物の総額を管理するため。
4. キリスト教の布教を目的とするヨーロッパの船を排除し、仏教文化のみを輸入する制限を設けるため。
- 問7 オーストラリアの歴史や社会的な特徴について説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 広大な面積を持つ島国であり、18世紀にイギリスから独立して以来、一貫して先住民の権利を最優先する政策を維持している。
2. かつて白豪主義という白人優先の政策がとられていたが、現在は先住民であるアボリジニとの和解や多文化主義を推進している。
3. ニュージーランドの先住民であるマオリと共通の文化を持ち、古くからアジア諸国との交易を中心に発展してきた。
4. 北極圏に近い厳しい寒さの中で、イヌイットと呼ばれる先住民が独自のトナカイ遊牧文化を築き、現在もそれを維持している。
- 問8 近年では、かつて見られたドーナツ化現象とは対照的に、一度は郊外へ流出した人口が再び都心部へ戻ってくる「都心回帰」という現象が見られます。この背景として考えられる、都市の再開発に関する具体的な動きはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 山間部の過疎化を防ぐために、都心のオフィスをすべて地方へ移転させ、都心部を巨大な公園にしたこと。
2. 都心の工場跡地などに大規模な超高層マンションが建設され、職場に近い利便性の高い住環境が整備されたこと。
3. 郊外のニュータウンにある住宅をすべて商業施設に建て替え、住居を都心の地下街に集約させたこと。
4. 地価がさらに高騰し続けた結果、一般世帯が家を持つことを諦め、都心の路上やオフィスに住み着いたこと。
- 問9 日本国憲法第13条が保障する「個人の尊重」や「幸福追求権」を根拠として、個人のライフスタイルや身体のあり方など、個人的な事柄について他者や公権力から干渉されずに自分自身で決定できる権利を何といいますか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 生存権 2. プライバシーの権利 3. 知る権利 4. 自己決定権
- 問10 現代社会が目指すべき「共生社会」のあり方として、インクルージョンの観点から述べた説明として最も適切なものはどれか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 医療の現場において、患者が医師から適切な説明を受けた上で、自らの意思で治療方法を選択できるようにすること。
2. 個々の属性による違いを否定するのではなく、それを互いに認め合った上で、誰もが社会活動に加わることのできる環境を整えること。
3. 建物の段差をなくしたり、点字ブロックを設置したりすることで、高齢者や障害者の移動の制限を取り除くこと。
4. 生活に困窮した人々が最低限度の生活を送れるよう、公的な扶助によって社会的な安全網を構築すること。
- 問11 16世紀後半に展開された、ヨーロッパ諸国との交流に関する記述として正しいものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. オランダ商人が長崎の出島に商館を置き、キリスト教を広めないことを条件に貿易を独占した。
2. 足利義満が、宋の商人と大輪田泊などの港を利用して、銅銭を大量に輸入した。
3. ポルトガルやスペインの商人は「南蛮人」と呼ばれ、平戸や長崎などの港で貿易が行われた。
4. 豊臣秀吉が海外渡航を許可する文書を発行し、東南アジア各地に日本町が形成された。
- 問12 情報化社会の進展に伴い、「新しい人権」の一つとして重要視されている、自分の私生活に関する情報を勝手に公開されない権利や、自分の情報をコントロールする権利を何といいますか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 知る権利 2. 表現の自由 3. アクセス権 4. プライバシーの権利
- 問13 1872年に明治政府が公布した、国民全員が教育を受けることを目指した日本最初の近代的な教育制度を何といいますか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 学制 2. 小学校令 3. 徴兵令 4. 教育勅語

答え合わせ・解説

問1	答え 2 持続可能な開発	1987年の「環境と開発に関する世界委員会」の報告書で提唱された考え方です。現代の私たちが資源を使い果たしたり環境を破壊したりせず、将来の世代も幸福な生活を送れるように配慮しながら社会を発展させていくことを指します。
問2	答え 3 唐と新羅	663年、日本（倭）は百済を再興させるために軍を派遣しましたが、中国大陆を統一した唐と、朝鮮半島東部の新羅による連合軍に敗北しました。この結果、日本は朝鮮半島への影響力を失い、国内では唐などの侵攻に備えて大宰府に水城を築くなど、国防体制を急いで整えることとなりました。
問3	答え 2 人口減少や高齢化が進む地域において、新たな労働力を確保し、産業を維持することで地域活性化を図るため。	地方では若年層の流出にともなう人口減少と、それに付随する労働力不足が深刻な課題となっています。Iターンによる移住を促進することで、農業や地場産業などの新たな担い手を確保し、地域の経済やコミュニティを維持する「地域活性化」を目指す動きが全国の自治体で広がっています。
問4	答え 4 将来にわたって安価で豊富な労働力を確保しやすい点	エジプトの平均賃金は欧米の先進国と比較して非常に安価であり、企業にとっては生産コストを低く抑えられるメリットがあります。また、人口構成において若年層が厚いことは、将来的な労働力の供給が安定していることを示しており、長期的な事業展開において有利な条件となります。
問5	答え 3 事業の着手前に環境への影響を評価し、その結果を公表して住民などの意見を反映させるため	環境アセスメントは、開発が始まってから対策を立てるのではなく、計画段階で環境負荷を最小限に抑えることを目的としています。風力発電のような再生可能エネルギーの導入であっても、大規模な施設建設は自然破壊につながる恐れがあるため、事前に住民の意見を取り入れた合意形成が求められます。
問6	答え 2 明の皇帝に従う「臣従」の形をとった正式な貿易船と、沿岸部を荒らしていた倭寇（海賊）を区別するため。	当時の東アジアでは倭寇（海賊）の活動が活発化しており、明はこれを取り締まるよう日本に求めていました。足利義満は明の皇帝に対して臣下となる形式（臣従）をとって国交を樹立し、正式な貿易船であることを証明するために、明から交付された「勘合」という札を合わせる方式を採用しました。これにより、私的な密貿易や海賊行為である倭寇と、幕府が公認する朝貢貿易を明確に区別しました。
問7	答え 2 かつて白豪主義という白人優先の政策がとられていたが、現在は先住民であるアボリジニとの和解や多文化主義を推進している。	オーストラリアの先住民はアボリジニです。1970年代まで続いた白人以外の移民を制限する「白豪主義」を廃止した後は、多様な民族を尊重する「多文化主義」へと政策を転換しました。マオリはニュージーランドの先住民であり、イヌイットは北極圏周辺の先住民であるため、混同しないよう注意が必要です。
問8	答え 2 都心の工場跡地などに大規模な超高層マンションが建設され、職場に近い利便性の高い住環境が整備されたこと。	1990年代後半以降、バブル崩壊による地価の下落や、都心の工場・倉庫跡地の再開発によって、利便性の高い都心部に大規模なマンションが次々と建設されました。共働き世帯の増加などを背景に、通勤時間を短縮できる「職住近接」のライフスタイルが好まれるようになったことで、一度減少した都心部の居住人口が再び増加に転じています。
問9	答え 4 自己決定権	社会の変化に伴い、憲法第13条の幸福追求権を根拠に認められるようになった「新しい人権」の一つです。かつてのプライバシーの権利は「私生活をみだりに公開されない権利」とされていましたが、現代ではこれに加え、自らの情報をコントロールしたり、人生の重要な選択を自ら行ったりする権利が重要視されています。
問10	答え 2 個々の属性による違いを否定するのではなく、それを互いに認め合った上で、誰もが社会活動に加わることができる環境を整えること。	インクルージョンは、一人ひとりの違いを価値として受け入れ、全ての人が役割を持って社会に参画することを重視します。他の選択肢にある「インフォームド・コンセント（医療の説明と同意）」や「セーフティネット（社会的な安全網）」とは、焦点を当てている社会課題の文脈が異なります。
問11	答え 3 ポルトガルやスペインの商人は「南蛮人」と呼ばれ、平戸や長崎などの港で貿易が行われた。	当時、東南アジアを経由して来航したポルトガルやスペインの人々は南蛮人と呼ばれ、彼らとの貿易は南蛮貿易と称されました。オランダとの独占的な貿易は江戸時代の鎖国体制下のことです。また、銅銭の輸入は鎌倉時代以前から見られる日宋貿易の特徴であり、日本町の形成はのちの朱印船貿易が盛んになった時期の出来事です。
問12	答え 4 プライバシーの権利	表現の自由などは憲法に直接規定されている伝統的な権利ですが、プライバシーの権利は高度情報化社会において個人の私生活を守るために強く意識されるようになった新しい人権の代表例です。当初は「私生活を公開されない権利」という意味が強かったですが、現在では「自分の情報を自分で管理する権利」という側面も重視されるようになっていきます。
問13	答え 1 学制	明治政府は「国民皆学」のスローガンのもと、身分や性別に関係なくすべての国民が教育を受けるべきであるという方針を打ち出しました。これが1872年に公布された学制です。しかし、当初は授業料が自己負担であったことや、貴重な労働力である子どもを学校に取られることへの不満から、農民による反対一揆が起こることもありました。